

## 【報告】

「上田貞次郎宛書簡コレクション」について

大場高志（一橋大学総務部総務課）

### 1. はじめに

上田貞次郎（うえだていじろう：1879-1940）は、東京商科大学の第3代学長であり、大学昇格運動や大学昇格後の東京商科大学の発展に多大な貢献を与えた学長である。

一橋大学学園史資料室はこの上田貞次郎に宛てた書簡のコレクションを所蔵している。2014年の春から夏にかけてこのコレクションのリスト化を行ったので、文末の表3に示し、報告する。本稿では「上田貞次郎宛書簡コレクション」の入手経緯を中心にコレクションの概要について報告する。

### 2. 上田貞次郎について

上田貞次郎は明治12年（1879年）紀州徳川家の家扶であった儒学者上田章の次男として東京府麻布区飯倉町の徳川邸内で生まれた。明治29年（1896年）高等商業学校に入学後、明治35年（1902年）に東京高等商業学校専攻部を卒業して東京高等商業学校講師となり、以後商業学、経済学、経営学などに多大の貢献をなし<sup>1</sup>、その「研究は国際経済学、経営学、経済史、政治思想史、経済政策、人口学、中小企業論など多方面にわたっており、しかもそれぞれの分野で開拓者的業績を残し、また有力な後継者を育て」<sup>2</sup>た。昭和11年（1936年）には白票事件の収拾に奮闘した東京商科大学の第2代学長三浦新七の辞任を受けて第3代学長となり、学内外の困難な情勢のなか大学運営に奔走していたが、昭和15年（1940年）学長在任中に盲腸炎をこじらせ急逝した。学界および教育界への計り知れない損失であると惜しまれた。<sup>3</sup>

上田貞次郎の関係資料については、主な著書・論文として『上田貞次郎全集』<sup>4</sup>、日記に『上田貞次郎日記』<sup>5</sup>、随筆に『白雲去来』<sup>6</sup>がある。上田貞次郎の旧蔵書は一橋大学附属図書館に「上田文庫」（和書1,691冊、洋書1,334冊）として収蔵されている。また、草稿類、ノート、日記など手稿類が一橋大学附属図書館貴重資料室に収蔵されており、それらの複製物が『上田貞次郎直筆ノート類』<sup>7</sup>として附属図書館に収められている。そして、「上田貞次郎宛書簡コレクション」が一橋大学学園史資料室に収蔵されている。

上田貞次郎の業績については、『近現代日本人物史料情報辞典』<sup>8)</sup>に上田貞次郎の曾孫にあたる上村泰裕名古屋大学准教授が執筆された「上田貞次郎（うえだ・ていじろう）」があり、各種評伝や研究論文が詳しく紹介されている。表1に上田貞次郎の長男である上田正一氏の『上田貞次郎伝』<sup>9)</sup>に掲載されている「上田貞次郎年譜」に基づいて作成した略年譜を示す。

表1 上田貞次郎略年譜（抜粋）

なお年齢欄を追加し、日付、住所の漢数字はアラビア数字とした。

和暦	西暦	年齢	事項
明治12年	1879年	0	3月19日麻布飯倉町6ノ14に生る。(戸籍上は5月3日) 父章、母良(リュウ)兄敬太郎
明治17年	1884年	5	飯倉小学校入学
明治24年	1891年	12	3月飯倉小学校高等科卒業 4月正則予備校入学
明治29年	1896年	17	正則予備校卒業 高等商業学校入学 和歌山学生会に入会
明治31年	1898年	19	級友の有志団九鼎社の一員となる
明治33年	1900年	21	高等商業学校卒業(81名中20番)専攻部貿易科入学
明治35年	1902年	23	専攻部卒業 卒業論文「外国貿易論」が福田教授に認められ母校講師を嘱託される、給料30円
明治38年	1905年	26	分家届出 4月教授に就任 9月3年間英独へ留学を命ぜられる(10月出発)
明治42年	1909年	30	1月アメリカより帰国 2月麻布仲ノ町に移転 4月向笠ていと結婚 10月小日向台町1-62へ転居
明治43年	1910年	31	2月長男正一生る 9月小日向台町1-35へ転居
明治44年	1911年	32	1月和歌山学生会解散、南葵育英会創立(委員) 10月次男良二生る 3月鎌田栄吉より徳川頼貞の学業に付相談を受く
明治45年 大正元年	1912年	33	9月一橋会編纂部長に推される 11月麻布新網町2-35へ転居
大正2年	1913年	34	7月三男信三生る 9月英国へ再留学
大正3年	1914年	35	9月帰朝命令により、年末帰朝 小石川区小日向台町2-35へ転居
大正4年	1915年	36	2月関一より大阪高商校長就任を希望せらるゝも断る 11月長女タツ子生る
大正5年	1916年	37	8月長女タツ子死亡 徳川家理事に就任
大正6年	1917年	38	4月高田村雑司谷1、122に転居 7-8月頼貞と支那漫遊
大正7年	1918年	39	4月四男勇五生る 8月京大病院に島蘭博士の診察を受け、以後禁酒す
大正8年	1919年	40	大学昇格問題に奔走 4月法学博士の学位を受く 高等試験臨時委員、昭和15年に及ぶ 10月第1回国際労働会議政府代表顧問として米国に出張

大正9年	1920年	41	1月米国より帰国 英国産業革命史研究に没頭 東京商科大学教授就任
大正10年	1921年	42	7月朝鮮中央経済会の招聘により京城で講演
大正11年	1922年	43	公民教育調査会委員
大正12年	1923年	44	2月台湾総督府視学官講習会のため台湾へ出張
大正13年	1924年	45	商大学生SPS労働学校を開き出講
大正14年	1925年	46	7月如水会理事に推される 軽井沢千ヶ滝に茅葺の別荘成り以後毎夏を過す
大正15年 昭和元年	1926年	47	雑誌企業と社会創刊 日本経営学会創立常務理事 徳川家顧問就任
昭和2年	1927年	48	国際経済会議日本政府委員(4月出発、5月会議、8月帰国)
昭和3年	1928年	49	1月東京自由通商協会創立 3月自由通商協会日本連盟成立常務理事就任 大阪商科大学長就任を辞退 3月企業と社会終刊 8月海外出張
昭和4年	1929年	50	3月海外出張より帰国
昭和5年	1930年	51	山中、竹中補手、美濃口、森氏らと研究会を開く、のち日本経済研究会と命名す
昭和6年	1931年	52	太平洋問題調査会に関係す 中野区桃園町9番地へ転居 徳川家顧問辞任
昭和7年	1932年	53	帝大青山外科で痔手術 経理士試験臨時委員(昭和11年に及ぶ)
昭和8年	1933年	54	日本学術振興会経済学部委員 日本経済研究会事務所設置 太平洋会議日本代表(カナダ、バンフ) 帝大講師委嘱(商業政策) 人口問題研究会理事
昭和9年	1934年	55	簡易保険積立金運用委員会委員 石油業統制委員会委員
昭和11年	1936年	57	予科主事々務取扱 太平洋会議日本代表(アメリカ、ヨセミテ) 三浦学長辞任東京商科大学長就任
昭和12年	1937年	58	帝国学士院会員 教員検定委員会常任委員 教育審議会委員 日本学術振興会第23小委員会委員長(中小工業研究) 世界教育会議、商業教育部会議長
昭和13年	1938年	59	日本経済研究会解散 東亜文化協議会第2回会議に出席
昭和14年	1939年	60	満支視察(4月-5月) 東亜文化協議会(北京)出席のため出発したが暴風のため帰国
昭和15	1940年	61	人口問題研究所参与 5月8日慶應病院にて死去 5月13日東京商科大学葬 11月学生により胸像建立

### 3. 「上田貞次郎宛書簡コレクション」の入手の経緯

学園史資料室の「上田貞次郎宛書簡コレクション」には、本コレクションの入手に関するいくつかのメモ、資料が残されている。これらの資料をもとに本コレクションの成立過程を概観する。

### 3.1. 上田正一氏からの寄贈

上田貞次郎の長男である上田正一氏が昭和56年10月21日に一橋大学の学園史資料室に来室し、上田貞次郎宛書簡の寄贈を申し入れた。上田正一氏は、昭和55年5月に『上田貞次郎伝』を泰文館から刊行している。父親の伝記をまとめるという一大事業を成し遂げ、手元に残った父親の書簡資料を母校一橋大学に寄贈しようと考えていただいたのであろう。当時の学園史資料室長は中村正則経済学部教授、室員には大島栄子社会学部助手が在籍していた。その時の備忘メモが（資料1：備忘メモ）である。このメモでは4点の依頼事項があったとしている。

（資料1：備忘メモ）一橋大学罫紙に手書きメモ

上田正一氏からの依頼

1. 上田貞次郎あての本学教授らの書簡約160通を学園史資料として寄贈したい。
1. 書簡は未整理なので、整理、分類の上、目録を作製し、できれば表装にして保存してほしい。
1. 本学教授関係の書簡は、そのコピーを遺族に送ってほしい。住所、氏名等は上田が指示する。
1. 書簡の他に、大震災時の学生の発行した新聞やSPS労働学校のビラなどがあるので一括してとりにきてほしい。日時は指定する。

（昭和56年10月12日、学園史資料室においでになっての依頼）

学園史資料室

その後、上田正一氏から大島栄子宛に資料2の書簡が残されている。この書簡には年号の記載はないが、「上田貞次郎宛書簡コレクション」の受贈日は、同封されていた資料3の「上田貞次郎宛書簡〔差出人氏名〕」にある昭和57年6月7日の日付であると思われる。この書簡に出てくる「吉田さん」は未詳であるが、「先日」上田貞次郎宛書簡を一橋大学側に手渡したこと、追加のいくつかの書簡を同封したこと、そして上田貞次郎宛書簡の差出人氏名リストを同封したことが分かる。実際に学園史資料室に残されていた上田貞

次郎宛書簡は、資料3の差出人氏名リストにおおむね分けられ、ファイルバインダーに入れられていた。

(資料2：上田正一書簡) 原文は縦書き手書き

拝啓  
先日は上田貞次郎宛書簡受取に吉田さん  
にご足労をわずらわしましてありがとうございました。  
その節お渡し致すべき左記書類を同封  
お送りいたします。  
一、上田貞次郎宛書簡 (差出人氏名)  
二、外国人のファイルに追加 ウェブとの往復書簡  
(英文) 並に同翻訳  
三、小泉信三書簡 (原文は小泉氏に返還した  
ため、全集書簡集の写)  
以上追加で送付申上げますから、よろしく  
御取計い願います。  
六月十三日  
上田正一  
一橋大学園史編さん室  
大島栄子様

(資料3：上田貞次郎宛書簡 [差出人氏名]) 手書きメモ4枚

No.1  
昭 57.6.7  
上田貞次郎宛書簡 [差出人氏名] 一橋大学園史調査室へ寄贈  
東京商大 [ファイル I. II.]  
渋沢栄一、關一 (4通)、福田徳三 (3通)、佐野善作、滝本美夫 (4通)  
内池廉吉 (2通)、根岸侑 (2通)、堀光亀 (3通)、太田哲三 (4通)  
高垣寅次郎 (2通)、藤本幸太郎、井浦仙太郎、小比木為二  
上田辰之助 (4通)、大塚金之助 (7通)、金子鷹之助 (4通)  
増地庸治郎 (15通)、緒方清 (11通)、山口茂、猪谷善一 (10通)

<p>山中篤太郎 (7 通)、杉本栄一、常盤敏太 (5 通)、15 教授連名 佐野学長通知、田中誠二 (3 通) 黒川善一、太刀川浩一郎 (3 通)、那須皓、蠟山政道 神戸商大〔ファイルⅢ〕 水島鍔也、田崎慎治 (2 通)、津村秀松、平井泰太郎 (17 通) 金田近二 (2 通)、宮下孝吉、岡本真一、竹中龍雄 (2 通)</p>	No.2
<p>他大学〔ファイルⅣ〕 穂積重遠 (京大、法)、神戸正雄 (京大)、高田保馬 (九大) 谷口吉彦 (京大)、森荘三郎 (京大)、大西猪之介 (小樽高商) 松本亦太郎 (東大、文)、向井鹿松 (慶大)、高島佐一郎 (名高商) 徳増栄太郎 (横高商、3 通)、本村元治 (横市大、2 通)、北野大吉 (関学大) 井上亀三 (横高商)、麻生久、佐野学、山名義鶴 (連名)、岡実 (毎日社長) 如水会〔ファイルⅤ〕 江口定條、南条金雄、正田貞一郎 三々会 (明 33 校章同期生)〔全上〕 前田卯之助 (兼松商店総務取締役)、高島菊次郎 (王子製紙社長) 村田省蔵 (大阪商船社長)、渡辺与七、浅井義瑠、切田太郎 岡本創 正則中学同期生〔全上〕 加藤成一、高橋鎗<sup>カク</sup>四郎</p> <p style="text-align: right;">No.3</p> <p>紀州関係〔ファイルⅥ〕 徳川頼貞 (旧藩主家、侯爵)、鎌田栄吉 (慶応塾長)、小泉信三 (慶応塾長) 有馬良橘 (海軍大将)、日正信亮 (陸軍主計監)、岡崎邦輔 (政友会幹事長) 小川琢治 (京大教授)、松島剛、栗本勇之助 (栗本鉄工所社長) 下村宏 (朝日新聞社長)、島菌順次郎 (東大医教授)、浜口儀兵衛 中村魏 (代議士)、河北真太郎 (河北病院長)、山東誠三郎 (紀州家理事) 外国人〔ファイルⅦ〕</p>	

H. O. Meredith (3通) [ベルファスト大教授、経済史]	
E. P. Hughes (3通) [婦人運動家、お茶ノ水女高師講師]	
G. A. Hughes [前者の弟、弁護士]	
S. J. Chapman [マンチェスター大教授]	
J. – Stephenson	
G. – Dickinson	
	No.4
Sidney Webb, 貞次郎, 往復 [ロンドン大教授]	
A. Mannlich [徳川侯の友人]	
J. O. F. Murray [徳川侯の教師]	
E. H. Vickers [高商講師、慶應講師]	
N. S. Smith [商大講師]	
C. R. Buxton	
W. R. Crocker [オックスフォード大「日本人口問題」の著者]	
G. M. Fisher	
M. G. Smith	

### 3.2. 如水会への提供

昭和58年(1983年)2月15日に一橋大学学園史編纂事業委員会が上田正一氏に資料4にある感謝状を出している。一橋大学学園史編纂事業委員会とは昭和56年(1981年)に如水会内に設置された委員会で、昭和58年の解散までの2年間に10の作業委員会を設け、「申酉事件史」や「一橋籠城事件」、「一橋のゼミナール」、「如水会のあゆみ」など多くの学園史関係刊行物を精力的にまとめた委員会である。恐らく学園史資料室に寄贈された「上田貞次郎宛書簡コレクション」の一部を作業委員会が利用したのではないかと思われ、一時は一部が学園史編纂事業委員会に移されていたのかもしれない。この感謝状にある増地庸治郎15通は今回リスト化したリストでは14通(ただし、A06:45-63に同封されているNicklischの書簡写しを含めると15通)、資料3の「差出人氏名」では15通、山中篤太郎7通はリストでも「差出人氏名」でも7通、猪谷善一6通はリストでは12通、「差出人氏名」では10通である。如水会の一橋学園史編纂事業委員会に提供された書簡と学園史資料室に寄贈された書簡とが同じものであるかどうかは、今のところ確認できていない。

(資料4：感謝状)

学園史第011号	
感謝状	
昭和58年2月15日	
上田正一殿	
一橋大学学園史編纂事業委員会	
委員長 茂木啓三郎	
貴殿には当委員会に対し、下記資料を御提供いただきました。貴重な資料として学園史編纂事業に役立たせていただいております。厚く御礼申し上げます。	
なお、本資料は、編纂事業終了後に一橋大学へ寄贈し、永久に保管していただく所存ですのでご了承をお願いいたします。	
記	
上田貞次郎宛書簡	
増地庸治郎	15通
山中篤太郎	7通
猪谷善一	6通
上田貞次郎伝	10冊
上田貞次郎日記	3巻
	以上

3.3. 谷口晋吉教授を通じた寄贈

1998年7月31日に学園史資料室から上田正一氏に出した書簡の写しが資料5である。谷口晋吉一橋大学名誉教授は上田貞次郎の遠戚にあたり、上田正一氏から託されて仲介の労を取られたものと思われる。



(資料5: 礼状) ワープロ1枚

上田正一様
謹啓
この度は谷口晋吉教授を通じ、上田貞次郎先生宛て書簡等（下記）をご寄贈下さいまして誠にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。
以前ご寄贈下さいました書簡類と合わせ、当室に大切に保存し、閲覧にも供し、ご厚志に応えたいと存じます。
略儀ながら書中をもって御礼申し上げます。
謹言
記
上田貞次郎先生宛書簡
差出人氏名（敬称略）
1. 東京商大 三浦新七（2通）、福田徳三、左右田喜一郎
1. 東京帝大ほか 吉野作造、大島延次郎
1. 三三会 前田卯之助（2通）、出淵勝次
1. 東京商大関係 武井大助、河野健治
1. 正則中学 加藤成一
1. 紀州関係 松島剛
上田博士帝国学士院新任祝賀会 招待状
出席者氏名
1998年7月31日
一橋大学学園史資料室

#### 4. 「上田貞次郎宛書簡コレクション」の整理について

「上田貞次郎宛書簡コレクション」は、上田正一氏が大分類をしていたファイルⅠからⅦまでを、そのまま資料3の「上田貞次郎宛書簡[差出人氏名]」の順に並べて整理した。同一差出人の中は日付順である。ただし、現物の通数は、資料3のメモ書きにある通数と必ずしも一致しないものもあった。おおむね現物の方が多かった。

他に「未処理分」として多数の書簡が残されていた。この「未処理分」の中にはファイルⅠからⅦまでの差出人リストに名前のある者もあったので、その場合には当該氏名のフ

ファイルの整理番号にダッシュ記号「'」をつけて追加した。「未処理分」の中に左右田喜一郎、三浦新七、村瀬春雄の書簡がそれぞれ1通ずつあったので、資料3の「差出人氏名」には書かれていないが、本学教員なので佐野善作[A-06:45-11]のあとに「'」「”」「”'」をつけて整理した。また、ファイルVI：紀州関係にあった井爪亟次とファイルVII：外国人にあった Frummkin, W. J. Ashley, Abott & Smith, P. L. F. Jacoulet の4名の書簡は、資料3の上田正一氏メモ〔差出人氏名〕に記載がなかったので、未整理分ファイルに移した。その結果、未処理分は46通となった。その多くは上田貞次郎の家族や身内の方々と思われる。

表2にファイルIからVIIまで、及び未処理分と谷口教授経由分の通数を示す。総計は346通になった。なお、リストの請求記号[A-06:45-221']と[A-06:45-221“]の小泉信三書簡<sup>10</sup>と[A-06:45-310]のてい子夫人宛上田貞次郎書簡<sup>11</sup>は原資料ではないので、通数に数えていない。

表2 上田貞次郎宛コレクションファイルの通数

I (1-49) 東京商大	53 点	VI (197-241) 紀州関係	45 通
II (50-111) 東京商大	64 通	VII (242-263) 外国人	24 通
III (112-135) 神戸商大	27 通	(264-309) 未処理分	46 通
IV (136-153) 他大学	19 通	谷口教授経由の分	15 通
V (154-196') 如水会	53 通	計	346 通

上田貞次郎の曾孫にあたる上村泰裕名古屋大学准教授は『近現代日本人物史料情報辞典』に「上田貞次郎」の項を書かれている。その項には以下のような記載がある。

「②一橋大学学園史資料室には「上田貞次郎宛書簡」として二四二通が保存されている。内容は、学会（関一・福田徳三・根岸佶。三浦新七・吉野作造・左右田喜一郎・穂積重遠・高田保馬・小泉信三・那須皓・谷口吉彦・上田辰之助・大塚金之助・蠟山政道・猪谷善一ほか）、実業界（渋沢栄一・正田貞一郎・村田省蔵ほか）、紀州関係（岡崎邦輔・松崎剛・鎌田栄吉・有馬良橘・下村宏・徳川頼貞ほか）、外国人（Sidney Webb との往復書簡、Goldsworthy Lowes Dickinson, Hugh Owen Meredith ほか）などである。」

上村泰裕氏については、2002年の10月頃、一橋大学附属図書館を訪れ、資料調査を行ったのち、この記事の原稿を書いた旨の礼状書簡が学園史資料室に残っている。

現物の「上田貞次郎宛書簡コレクション」のリスト化を終わって、資料1の備忘メモにある「約160通」や上村泰裕氏の記事にある「二四二通」より、100通近く数が多いことが分かった。残された資料で分かる以外にも何度か追加で寄贈されたことがあったのかもしれない。

## 5. おわりに

「上田貞次郎宛書簡コレクション」の寄贈者である上田正一氏も昭和9年に退学をしたが東京商科大学の学生であった。「上田貞次郎宛書簡コレクション」のリスト化を終え、本稿執筆の準備をしている最中、大月康弘経済学研究科教授から、『如水会々報』10月号に上田正一氏の訃報が掲載されていることを知らされた。2014年の7月25日に104歳の天寿を全うされたとのことである。ご報告が遅れてしまったことを故上田正一氏には誠に申し訳なく思っている。資料1の備忘メモにある上田正一氏のご依頼に対してはできるだけ完遂したいと考えている。ご依頼の1点目の寄贈については、学園史資料室において今後も将来にわたって良好な保管を続けていきたいと考えている。2点目の目録の作成については、表装まではできないが、今回一定のリスト化を行った。本稿のリスト公表をもってご報告に代えたいと考えている。

4点目の「大震災時の学生の発行した新聞やSPS労働学校のビラ」については、恐らく『一橋時報』や『労働と知識』、『SPS労働学校時報』、SPS労働学校の学生募集ビラなどのことを指すと思われる。学園史資料室にはこれらの複製物（コピー）資料が所蔵されている。上田正一氏から寄贈されたものがこれらの複製物（コピー）資料なのかそれとも原資料であったのかは確認できていない。

3点目の「本学教授関係の書簡は、そのコピーを遺族に送ってほしい」というご依頼についてもできるだけご意向に沿いたいと考えているが、ご遺族の連絡先がすべて判明しているわけではない。本稿の読者において、これらご遺族の連絡先をご承知の方には、学園史資料室まで連絡をいただけたならば、大変にありがたいと考えている。連絡先は以下のとおりである。

〒186-8601

東京都国立市中2丁目1番地

一橋大学学園史資料室

大場 高志

TEL:042-580-8292

email:gen-kb.g@dm.hit-u.ac.jp

なお、「上田貞次郎宛書簡コレクション」の利用については、私文書であるので、一般的な利用は困難であると思われる。学園史資料室では、一橋大学附属図書館の「大塚金之助関係資料取扱要綱」に準じた方法で利用に供したいと考えているので、利用に際しても学園史資料室に事前にご相談いただければ幸いです。文末に参考として「大塚金之助関係資料取扱要綱」<sup>12</sup>を示しておく。

表3 「上田貞次郎宛書簡コレクション」

記号	請求番号	タイトル	対象年	責任表示	出版年	大きさ	頁数	注記
A06	45-1	上田貞次郎宛書簡	大正 年4月21日	渋沢栄一	191-.4.21	62×20cm	1枚	株式会社社の起源、継紙 上田正一「渋沢栄一翁の書簡」(全集の某no.1)あり
A06	45-2	上田貞次郎宛書簡	大正3年3月3日	関一	1914.3.3	24cm	1枚	
A06	45-3	上田貞次郎宛書簡	大正4年2月4日	関一	1914.3.3	26cm	2枚(両面)	大阪市役所書紙
A06	45-4	上田貞次郎宛書簡	大正5年11月29日	関一	1915.11.29	22cm	1枚	
A06	45-5	上田貞次郎宛書簡	大正11年2月22日	関一	1922.2.22	26×20cm	2枚	武田教授詳細の返事
A06	45-6	上田貞次郎宛書簡	大正5年1月30日	福田徳三	1916.2.2	225×20cm	1枚	「独逸の戦時経済」関係
A06	45-7	上田貞次郎宛書簡	大正5年2月2日	福田徳三	1916.2.2	22cm	8枚	「一橋会雑誌」編集関係
A06	45-8	上田貞次郎宛書簡はがき	大正10年8月23日	福田徳三	1921.8.23	14cm	1枚	ポッドモーアのオーウェル伝入手
A06	45-9	上田貞次郎宛書簡	大正11年1月16日	福田徳三	1922.1.16			封筒のみ
A06	45-10	上田貞次郎宛書簡	大正11年2月19日	福田徳三	1922.2.19	26cm	1枚(両面)	「故大西教授記念資金」関係、関一の書簡あり
A06	45-11	上田貞次郎宛書簡	大正3年8月20日	佐野善作	1914.8.20	58×19cm	2枚	ロンドン宛、継紙
A06	45-11'	上田貞次郎宛書簡	明治42年11月20日	左右田喜一郎	1909.11.20	26×21cm	1枚(両面)	ベルリンから"Der Abschluss A. E. G."切抜あり 不明の書簡(2枚)あり
A06	45-11''	上田貞次郎宛書簡はがき	19-年7月15日	三浦新七	19-.7.15	14cm	1枚	小樽から
A06	45-11'''	上田貞次郎宛書簡	1907年9月3日消印	村瀬春雄	1907.9.3	26cm	2枚	H.O.Mourasséの便箋
A06	45-12	上田貞次郎宛書簡はがき	明治35年7月9日	瀧本美夫	1902.7.9	14cm	1枚	
A06	45-13	上田貞次郎宛書簡	明治35年8月5日	瀧本美夫	1902.8.5	29×23cm	1枚(両面)	佐野、福田
A06	45-13'	上田貞次郎宛書簡	明治40年11月10日	瀧本美夫	1907.11.10	146×18cm	1枚	ボンから、継紙
A06	45-14	上田貞次郎宛書簡	明治43年1月7日	瀧本美夫	1910.1.7	76×19cm	1枚	立教大学商科、継紙
A06	45-15	上田貞次郎宛書簡	明治 年9月10日	瀧本美夫	191-.9.10	155×19cm	1枚	継紙
A06	45-16	上田貞次郎宛書簡	大正4年3月5日	瀧本美夫	1916.3.5	25cm	1枚	三十四銀行書紙
A06	45-17	上田貞次郎宛書簡はがき	昭和4年6月21日	内池康吉	1929.6.21	14cm	1枚	シンガポールから
A06	45-18	上田貞次郎宛書簡はがき	昭和4年8月4日	内池康吉	1929.8.4	14cm	1枚	金田近二と連名
A06	45-19	上田貞次郎宛書簡	大正10年7月31日	根岸信	1921.7.31	120×19cm	1枚	継紙
A06	45-20	上田貞次郎宛書簡	大正12年1月5日	根岸信	1923.1.5	39×19cm	1枚	近衛文麿と連名、「新日本協会趣意書」「同会則」「名簿」あり
A06	45-21	上田貞次郎宛書簡	明治37年1月3日	堀光亀	1904.1.3	25×21cm	4枚	ライプツヒから
A06	45-22	上田貞次郎宛書簡	大正3年4月2日	堀光亀	1914.4.2	28cm	3枚	ケンブリッジ宛
A06	45-23	上田貞次郎宛書簡	大正3年6月19日	堀光亀	1914.6.19	28cm	3枚	ケンブリッジ宛
A06	45-24	上田貞次郎宛書簡はがき	大正15年5月29日	太田哲三	1926.5.29	14cm	1枚	バリから
A06	45-25	上田貞次郎宛書簡はがき	大正15年9月27日	太田哲三	1926.9.27	14cm	1枚	ロンドンから
A06	45-26	上田貞次郎宛書簡	大正15年10月6日	太田哲三	1926.10.6	28×21cm	3枚(両面)	バリから
A06	45-27	上田貞次郎宛書簡	昭和2年6月30日	太田哲三	1927.6.30	28×21cm	1枚	ロンドン宛
A06	45-28	上田貞次郎宛書簡	大正10年7月14日	高垣寅次郎	1921.7.14	25cm	1枚(両面)	ロンドン宛
A06	45-29	私論貨幣ノ本質ノ研究ニ就テ		高垣寅次郎		28cm	2枚	封筒入り
A06	45-30	上田貞次郎宛書簡	大正12年1月9日	藤本幸太郎	1923.1.9	80×19cm	1枚	継紙
A06	45-31	上田貞次郎宛書簡	大正12年4月3日	井浦仙太郎	1923.4.3	23cm	2枚	東中野の住宅適地、地図あり
A06	45-32	上田貞次郎宛書簡はがき	昭和3年8月1日	小比木為二	1928.8.1	14cm	1枚	台北から
A06	45-33	上田貞次郎宛書簡	大正9年5月5日	上田辰之助	1920.5.5	28cm	1枚	"Wharton School courses changed"切抜あり
A06	45-34	上田貞次郎宛書簡	大正9年7月21日	上田辰之助	1920.7.21	28cm	6枚(両面)	フィラデルフィアから
A06	45-35	上田貞次郎宛書簡	大正10年1月26日	上田辰之助	1921.1.26	28cm	4枚(両面)	フィラデルフィアから
A06	45-36	上田貞次郎宛書簡	大正11年1月12日	上田辰之助	1922.1.12	17cm	5枚(両面)	ヨークから
A06	45-37	上田貞次郎宛書簡	大正9年11月14日	大塚金之助	1920.11.14	28×22cm	2枚(両面)	ベルリンから、図書発送の件
A06	45-38	上田貞次郎宛書簡	大正9年11月13日	大塚金之助	1920.11.13	22cm	1枚	ベルリンから、Baumann,Economist,Hefferの買付書類あり
A06	45-39	上田貞次郎宛書簡	大正9年11月28日	大塚金之助	1920.11.28	28×22cm	1枚(両面)	ベルリンから
A06	45-40	上田貞次郎宛書簡	大正10年6月5日	大塚金之助	1921.6.5	27×22cm	2枚	ベルリンから

A06	45-41	上田貞次郎宛書簡	大正10年8月7日	大塚金之助	1921.8.7	27×17cm	3枚	ベルリンから、留学終了後の依頼
A06	45-42	上田貞次郎宛書簡	大正10年12月4日	大塚金之助	1921.12.4	28×22cm	1枚	ベルリンから
A06	45-43	上田貞次郎宛書簡	大正11年7月27日	大塚金之助	1922.7.27	28×22cm	2枚	ベルリンから
A06	45-44	上田貞次郎宛絵はがき	大正 年10月20日	大塚金之助	192-10.20	14cm	1枚	ベルリンから
A06	45-45	上田貞次郎宛絵はがき	大正10年8月8日	金子鷹之助	1921.8.8	14cm	1枚	ロンドンから
A06	45-46	上田貞次郎宛絵はがき	大正10年9月10日	金子鷹之助	1921.9.10	14cm	1枚	
A06	45-47	上田貞次郎宛書簡	大正11年7月6日	金子鷹之助	1922.7.6	22cm	6枚	
A06	45-48	上田貞次郎宛書簡	大正13年1月6日	金子鷹之助	1924.1.6	22×14cm	3枚	
A06	45-49	上田貞次郎宛書簡	大正13年2月24日	金子鷹之助	1924.2.24	22×14cm	8枚	
A06	45-50	上田貞次郎宛書簡	大正10年3月5日	増地庸治郎	1921.3.5	23cm	3枚	
A06	45-51	上田貞次郎宛書簡	大正10年3月9日	増地庸治郎	1921.3.9	23cm	2枚	
A06	45-52	上田貞次郎宛書簡	大正10年7月31日	増地庸治郎	1921.7.31	20cm	2枚	
A06	45-53	上田貞次郎宛書簡	大正10年8月11日	増地庸治郎	1921.8.11	20cm	2枚	
A06	45-54	上田貞次郎宛書簡	大正10年8月17日	増地庸治郎	1921.8.17	20cm	2枚	
A06	45-55	上田貞次郎宛書簡	大正10年10月17日	増地庸治郎	1921.10.17	77×17cm	1枚	綴紙
A06	45-56	上田貞次郎宛絵はがき	大正12年4月30日	増地庸治郎	1923.4.30	14cm	1枚	セイロンから
A06	45-57	上田貞次郎宛絵はがき	大正12年5月15日	増地庸治郎	1923.5.15	14cm	1枚	ロンドンから
A06	45-58	上田貞次郎宛書簡	大正12年6月5日	増地庸治郎	1923.6.5	30×19cm	3枚	ベルリンから
A06	45-59	上田貞次郎宛書簡	大正12年8月13日	増地庸治郎	1923.8.13	30×19cm	6枚	ベルリンから(?)
A06	45-60	上田貞次郎宛書簡	大正12年9月23日	増地庸治郎	1923.9.23	23×18cm	2枚	ベルリンから
A06	45-61	上田貞次郎宛書簡	大正12年11月3日	増地庸治郎	1923.11.3	28×21cm	3枚	ベルリンから、メンガー文庫
A06	45-62	上田貞次郎宛書簡	大正13年3月3日	増地庸治郎	1924.3.3	28×21cm	3枚	ベルリンから
A06	45-63	上田貞次郎宛書簡	大正13年7月7日	増地庸治郎	1924.7.7	28×21cm	3枚	ベルリンから、7月6日付Nickisch書簡写3枚、図書リスト2枚あり
A06	45-64	上田貞次郎宛書簡	大正10年2月27日	緒方清	1921.2.27	23cm	2枚	
A06	45-65	上田貞次郎宛絵はがき	大正10年6月9日	緒方清	1921.6.9	14cm	1枚	ロンドンから
A06	45-66	上田貞次郎宛書簡	大正10年9月15日	緒方清	1921.9.15	23×18cm	1枚	ロンドンから、ウェブ夫妻の写真2枚あり
A06	45-67	上田貞次郎宛書簡	大正11年4月17日	緒方清	1922.4.17	23×17cm	2枚(両面)	ロンドンから
A06	45-68	上田貞次郎宛書簡	大正 年7月13日	緒方清	192-7.13	26cm	1枚(両面)	ロンドンから
A06	45-69	上田貞次郎宛書簡	大正 年7月21日	緒方清	192-7.21	23×18cm	6枚	ロンドンから、Subject and details of the thesis "The Co-operative movement in Japan"あり
A06	45-70	上田貞次郎宛書簡	大正11年8月3日	緒方清	1922.8.3	23×18cm	3枚	ロンドンから
A06	45-71	上田貞次郎宛書簡	大正12年7月29日	緒方清	1923.7.29	23×18cm	3枚	ロンドンから
A06	45-72	上田貞次郎宛書簡	大正12年10月25日	緒方清	1923.10.25	23×18cm	3枚	封筒なし、大震災について
A06	45-73	上田貞次郎宛書簡	大正12年11月24日	緒方清	1923.11.24	23×18cm	5枚	ロンドンから
A06	45-74	上田貞次郎宛書簡	大正13年4月1日	緒方清	1924.4.1	23×18cm	4枚	ロンドンから
A06	45-75	上田貞次郎宛書簡	大正13年9月19日	緒方清	1924.9.19	23×18cm	3枚	ロンドンから、Reply to the criticism of my book, "The Co-operative Movement in Japan"11枚あり、新聞切抜4種あり
A06	45-76	上田貞次郎宛書簡	昭和10年9月1日	山口茂	1935.9.1	28cm	3枚	白票事件
A06	45-77	上田貞次郎宛書簡	大正11年7月13日	猪谷善一	1922.7.13	22×17cm	2枚	
A06	45-78	上田貞次郎宛絵はがき	大正11年8月10日	猪谷善一	1922.8.10	14cm	1枚	
A06	45-79	上田貞次郎宛書簡	昭和2年4月30日	猪谷善一	1927.4.30	23cm	2枚	ジュネーブ宛
A06	45-80	上田貞次郎宛書簡	昭和2年5月27日	猪谷善一	1927.5.27	23cm	2枚	ジュネーブ宛
A06	45-81	上田貞次郎宛書簡	昭和2年6月3日	猪谷善一	1927.6.3	25cm	4枚	ジュネーブ宛、如水会書紙、井上、緒方清、金田近二、竹中龍雄 共筆
A06	45-82	上田貞次郎宛書簡	昭和2年6月29日	猪谷善一	1927.6.29	22cm	3枚	ベルリン宛、「企業と社会」原稿用紙
A06	45-83	上田貞次郎宛絵はがき	昭和3年4月17日	猪谷善一	1928.4.17	14cm	1枚	上海から
A06	45-84	上田貞次郎宛書簡	昭和3年6月7日	猪谷善一	1928.6.7	18×16cm	2枚	バリから、妙共筆
A06	45-85	上田貞次郎宛書簡	昭和 年3月5日	猪谷善一	192-3.5	28×21cm	10枚	ワーリツヒから
A06	45-86	上田貞次郎宛絵はがき	昭和5年1月6日	猪谷善一	1930.1.6	14cm	1枚	ジュネーブから、田中千代子共筆
A06	45-87	上田貞次郎宛絵はがき	昭和5年4月21日	猪谷善一	1930.4.21	14cm	1枚	ウィーンから、妙共筆
A06	45-88	上田貞次郎宛絵はがき	昭和5年4月29日	猪谷善一	1930.4.29	14cm	1枚	ジュネーブから
A06	45-89	上田貞次郎宛絵はがき	大正14年8月22日	山中篤太郎	1925.8.22	14cm	1枚	香掛千ヶ滝宛
A06	45-90	上田貞次郎宛書簡	大正14年9月3日	山中篤太郎	1925.9.3	26×19cm	1枚	香掛千ヶ滝宛
A06	45-91	上田貞次郎宛書簡	昭和3年7月17日	山中篤太郎	1928.7.17	23×19cm	6枚	
A06	45-92	上田貞次郎宛書簡	昭和10年9月2日	山中篤太郎	1935.9.2	21×14cm	5枚	バリから
A06	45-93	上田貞次郎宛書簡	昭和10年10月2日清印	山中篤太郎	1935.10.2	28×21cm	3枚	バリから
A06	45-94	上田貞次郎宛書簡	昭和10年10月27日	山中篤太郎	1935.10.27	28×21cm	2枚	バリから
A06	45-95	上田貞次郎宛書簡	昭和10年11月7日	山中篤太郎	1935.11.7	28×21cm	1枚	バリから
A06	45-96	上田貞次郎宛絵はがき	昭和4年5月23日	杉本栄一	1929.5.23	14cm	1枚	ベルリンから
A06	45-97	上田貞次郎宛書簡	昭和10年8月23日	常盤敏太	1935.8.23	25cm	8枚	白票事件
A06	45-98	上田貞次郎宛書簡	昭和10年8月28日	常盤敏太	1935.8.28	175×20cm	1枚	白票事件、綴紙
A06	45-99	上田貞次郎宛書簡	昭和10年9月9日	常盤敏太	1935.9.9	25cm	2枚	白票事件
A06	45-100	上田貞次郎宛書簡	昭和10年9月18日	常盤敏太	1935.9.18	25cm	2枚	白票事件
A06	45-100'	杉村広蔵宛絵はがき	昭和9年10月5日	常盤敏太	1934.10.5	14cm	1枚	グルノーブルから
A06	45-101	上田貞次郎宛書簡	昭和10年7月30日	東京商科大学内有志一同	1935.7.30	40×28cm	1枚	白票事件
A06	45-102	上田貞次郎宛書簡	昭和10年7月13日	佐野善作	1935.7.13	27cm	1枚	白票事件、㊦
A06	45-103	上田貞次郎宛絵はがき	昭和3年4月11日	田中誠二	1928.4.11	14cm	1枚	アデンから
A06	45-104	上田貞次郎宛絵はがき	昭和3年5月31日	田中誠二	1928.5.31	14cm	1枚	バリから
A06	45-105	上田貞次郎宛絵はがき	昭和4年9月23日	田中誠二	1929.9.23	14cm	1枚	ベルリンから
A06	45-106	上田貞次郎宛絵はがき	昭和4年8月26日	黒川善一	1929.8.26	14cm	1枚	バディントンから
A06	45-107	上田貞次郎宛書簡	大正11年12月11日	太刀川浩一郎	1922.12.11	24×18cm	4枚	
A06	45-108	上田貞次郎宛絵はがき	大正14年9月27日	太刀川浩一郎	1925.9.27	14cm	1枚	ラッフェルズから
A06	45-109	上田貞次郎宛絵はがき	大正15年1月17日	太刀川浩一郎	1926.1.17	14cm	1枚	ジャヴァアから
A06	45-109'	上田貞次郎宛書簡	大正15年3月19日	太刀川浩一郎	1926.3.19	24cm	3枚	
A06	45-110	上田貞次郎宛書簡	昭和3年3月3日	那須皓	1928.3.3	22×18cm	1枚	
A06	45-111	上田貞次郎宛書簡	大正13年5月30日	蠟山政道	1924.5.30	100×18cm	1枚	「産業革命史」礼状、綴紙
A06	45-112	上田貞次郎宛書簡	大正12年3月29日	水島鏡也	1923.3.29	68×20cm	1枚	綴紙
A06	45-112'	上田貞次郎宛書簡	大正 年5月11日	水島鏡也	19--5.11	98×18cm	1枚	綴紙
A06	45-112''	上田貞次郎宛書簡	大正14年6月22日	水島鏡也	1925.6.22	23cm	1枚	
A06	45-113	上田貞次郎宛書簡	大正11年11月1日	田崎慎治	1922.11.1	26cm	4枚	神戸高等商業学校書紙
A06	45-114	上田貞次郎宛書簡	昭和4年6月12日?	田崎慎治	1929.6.12?	23×18cm	2枚(両面)	
A06	45-115	上田貞次郎宛書簡	昭和3年3月3日	津村秀松	1928.3.3	19×15cm	1枚	"Osaka Club"用紙

A06	45-116	上田貞次郎宛書簡	大正10年3月1日	平井泰太郎	1921.3.1	26cm	8枚	スイスから、1921.7.13消印の封筒(中身なし)あり
A06	45-117	上田貞次郎宛絵はがき	大正11年7月28日	平井泰太郎	1922.7.28	14cm	1枚	スイスから
A06	45-118	上田貞次郎宛書簡	大正12年3月4日	平井泰太郎	1923.3.4	33×21cm	2枚(両面)	ベルリンから
A06	45-119	上田貞次郎宛書簡	大正12年3月11日	平井泰太郎	1923.3.11	28×22cm	2枚	ベルリンから
A06	45-120	上田貞次郎宛絵はがき	大正12年3月29日	平井泰太郎	1923.3.29	14cm	3枚	チューリンゲン森から
A06	45-121	上田貞次郎宛絵はがき	大正12年4月22日	平井泰太郎	1923.4.22	14cm	1枚	エナから
A06	45-122	上田貞次郎宛書簡	大正12年8月6日	平井泰太郎	1923.8.6	28cm	6枚	アムルム島から
A06	45-123	上田貞次郎宛書簡	大正12年8月6日	平井泰太郎	1923.8.6	28cm	1枚	アムルム島から
A06	45-124	上田貞次郎宛書簡	大正13年2月29日	平井泰太郎	1924.2.29	27×19cm	3枚	フランクフルトから
A06	45-125	上田貞次郎宛書簡	大正13年7月9日	平井泰太郎	1924.7.9	28cm	2枚(両面)	フランクフルトから
A06	45-126	「劣農露西亞に於ける「経済研究施設」	1924年7月 日	平井泰太郎	1924.7	29×23cm	5枚	フランクフルトから、「Betriebswirtschaftliche Rundschau April 1924」7p. ;「Zeitschrift für Betriebswirtschaft Jg.1924」目次3枚あり
A06	45-126'	上田貞次郎宛書簡	大正13年10月6日	平井泰太郎	1924.10.6	27×20cm	4枚	ロンドンから、写真あり
A06	45-127	上田貞次郎宛書簡	大正14年3月10日	平井泰太郎	1925.3.10	21×18cm	1枚(両面)	フランクフルトから
A06	45-128	上田貞次郎宛書簡	大正14年3月12日	平井泰太郎	1925.3.12	29×18cm	1枚(両面)	フランクフルトから
A06	45-129	上田貞次郎宛書簡	昭和5年5月15日	平井泰太郎	1930.5.15	28cm	2枚	昭和5年5月21日付1枚あり
A06	45-130	上田貞次郎宛書簡	昭和5年1月1日	金田近二	1930.1.1	19cm	5枚	パリから
A06	45-131	上田貞次郎宛書簡	昭和6年11月20日	金田近二	1931.11.20	23cm	2枚	
A06	45-132	上田貞次郎宛絵はがき	昭和3年8月11日?	宮下孝吉	1928.8.11?	14cm	1枚	オーストリアから
A06	45-133	上田貞次郎宛書簡	大正12年5月23日	岡本真一	1923.5.23	23cm	2枚	
A06	45-134	上田貞次郎宛書簡	昭和6年9月20日	竹中龍雄	1931.9.20	27cm	1枚	
A06	45-135	上田貞次郎宛書簡	昭和6年9月26日	竹中龍雄	1931.9.26	27cm	2枚	
A06	45-136	上田貞次郎宛書簡	大正12年2月20日	穂積重遠	1923.2.20	22cm	1枚	「英国産業革命史論」の礼状
A06	45-137	上田貞次郎宛書簡	大正14年2月20日	神戸正雄	1925.2.27	80×18cm	1枚	綴紙
A06	45-138	上田貞次郎宛書簡	昭和3年3月10日	高田保馬	1928.3.10	60×18cm	1枚	綴紙
A06	45-139	上田貞次郎宛書簡	昭和6年11月16日	谷口吉彦	1931.11.16	27cm	2枚	
A06	45-140	上田貞次郎宛書簡	大正12年1月12日	森荘三郎	1923.1.12	20cm	1枚	経済学研究会例会決定通知、研究会名簿あり
A06	45-141	上田貞次郎宛絵はがき	大正5年12月3日	大西猪之介	1916.12.3	14cm	1枚	イタリアから
A06	45-142	上田貞次郎宛書簡	大正12年11月26日	松本亦太郎	1923.11.26	21cm	1枚	
A06	45-143	上田貞次郎宛絵はがき	昭和5年5月6日	向井鹿松	1930.5.6	14cm	1枚	ベルリンから
A06	45-144	上田貞次郎宛書簡	昭和3年3月5日	高島佐一郎	1928.3.5	27×21cm	3枚	
A06	45-145	上田貞次郎宛書簡	大正11年5月22日	徳増栄太郎	1922.5.22	26cm	3枚	ロンドンから
A06	45-146	上田貞次郎宛書簡	大正12年7月25日	徳増栄太郎	1923.7.25	26×21cm	4枚	ロンドンから、St. Paul's Hospitalの切抜きあり
A06	45-147	上田貞次郎宛書簡	大正13年4月6日	徳増栄太郎	1924.4.6	28cm	2枚(両面)	パリから
A06	45-147'	上田貞次郎宛書簡	大正15年9月13日	徳増栄太郎	1926.9.13	22cm	9枚	
A06	45-148	上田貞次郎宛書簡	大正11年7月2日	木村元治	1922.7.2	26×21cm	3枚	ロンドンから
A06	45-149	上田貞次郎宛書簡	大正12年3月24日	木村元治	1923.3.24	26×21cm	2枚	ベルリンから
A06	45-150	上田貞次郎宛書簡	年6月5日	北野大吉	19--.6.5	24cm	3枚	ベルリンから
A06	45-151	上田貞次郎宛絵はがき	昭和4年5月25日	井上亀三	1929.5.25	14cm	1枚	ベルリンから
A06	45-152	上田貞次郎宛書簡	大正11年1月23日	麻生久、佐野学、山名義鶴	1922.1.23	23cm	2枚	
A06	45-153	上田貞次郎宛絵はがき	大正10年4月12日	岡実	1921.4.12	14cm	1枚	ワシントンから
A06	45-154	上田貞次郎宛絵はがき	大正13年8月23日	江口定條	1924.8.23	14cm	1枚	
A06	45-155	上田貞次郎宛絵はがき	大正4年2月9日	南條金雄	1926.2.9	14cm	1枚	ロンドンから
A06	45-156	上田貞次郎宛絵はがき	昭和4年7月15日	正田貞一郎	1929.7.15	14cm	1枚	バンクーバーから
A06	45-157	上田貞次郎宛書簡	明治36年1月14日	前田卯之助	1903.1.14	23cm	2枚	
A06	45-157'	上田貞次郎宛書簡	明治41年3月30日	前田卯之助	1908.3.30	20×14cm	4枚	シドニーから
A06	45-157''	上田貞次郎宛書簡	明治41年5月11日	前田卯之助	1908.5.11	26×20cm	2枚	シドニーから
A06	45-158	上田貞次郎宛絵はがき	大正10年8月18日	前田卯之助	1921.8.18	14cm	1枚	
A06	45-159	上田貞次郎宛書簡	大正10年11月24日	前田卯之助	1921.11.24	25cm	3枚	兼松商店罫紙
A06	45-160	上田貞次郎宛書簡	大正12年5月27日	前田卯之助	1923.5.27	80×19cm	1枚	綴紙
A06	45-161	上田貞次郎宛書簡	大正12年9月26日	前田卯之助	1923.9.26	29×23cm	2枚	
A06	45-162	上田貞次郎宛書簡	大正12年10月16日	前田卯之助	1923.10.16	29×23cm	1枚	
A06	45-163	上田貞次郎宛書簡	大正12年10月18日	前田卯之助	1923.10.18	29×23cm	1枚	10月13日付前田宛吉田書簡及び電信文あり
A06	45-164	上田貞次郎宛絵はがき	大正12年10月22日	前田卯之助	1923.10.22	14cm	1枚	
A06	45-165	上田貞次郎宛書簡	大正12年10月25日	前田卯之助	1923.10.25	29cm	1枚	10月18日付前田宛吉田書簡及び東京帝大宛書簡あり
A06	45-166	上田貞次郎宛書簡	大正12年11月23日	前田卯之助	1923.11.23	148×19cm	1枚	綴紙
A06	45-167	上田貞次郎宛書簡	大正12年11月28日	前田卯之助	1923.11.28	120×19cm	1枚	綴紙
A06	45-168	三菱商事株式会社柳沢神戸御支店長宛	大正13年2月18日	前田卯之助	1924.2.18	38×28cm	1枚	タイプ印字
A06	45-169	上田貞次郎宛書簡	大正 年2月22日	前田卯之助	192--.2.22	75×19cm	1枚	2月17日夕付1枚あり、綴紙
A06	45-169'	上田貞次郎宛書簡	19--年10月22日	前田卯之助	19--.10.22	32×23cm	3枚	通籠町須田製便箋、封筒なし
A06	45-169''	上田貞次郎宛書簡	大正14年5月17日	前田卯之助	1925.5.17	117×20cm	1枚	綴紙
A06	45-170	上田貞次郎宛書簡	大正15年7月5日	前田卯之助	1926.7.5	22cm	2枚	
A06	45-171	上田貞次郎宛書簡	大正15年9月9日	前田卯之助	1926.9.9	22cm	3枚	
A06	45-172	上田貞次郎宛書簡	大正15年9月19日	前田卯之助	1926.9.19	22cm	3枚	
A06	45-173	上田貞次郎宛書簡	大正15年9月27日	前田卯之助	1926.9.27	22cm	2枚	
A06	45-174	上田貞次郎宛書簡	大正15年10月2日	前田卯之助	1926.10.2	22cm	14枚	
A06	45-175	上田貞次郎宛書簡	大正15年10月7日	前田卯之助	1926.10.7	22cm	1枚	
A06	45-176	上田貞次郎宛書簡	大正15年10月30日	前田卯之助	1926.10.30	22cm	1枚	
A06	45-177	上田貞次郎宛書簡	昭和3年2月24日	前田卯之助	1928.2.24	22×19cm	2枚	
A06	45-178	上田貞次郎宛書簡	昭和5年5月11日	前田卯之助	1930.5.11	22×19cm	2枚	5月7日付前田卯之助宛書簡あり
A06	45-179	上田貞次郎宛書簡	19--年4月7日	高島菊次郎	19--.4.1	23cm	1枚	如月6日付高島菊次郎宛犬塚志のぶ書簡あり
A06	45-180	上田貞次郎宛書簡	明治38年2月14日	村田省蔵	1905.2.14	22cm	3枚	上海から
A06	45-181	上田貞次郎宛書簡	明治38年3月26日	村田省蔵	1905.3.26	28cm	2枚	上海から
A06	45-182	上田貞次郎宛書簡	大正2年10月7日	村田省蔵	1913.10.7	28cm	1枚	
A06	45-183	上田貞次郎宛書簡	大正2年10月14日	村田省蔵	1913.10.14	28cm	2枚	
A06	45-184	上田貞次郎宛書簡	19--年6月19日	渡辺与七	19--.6.19	24cm	3枚	
A06	45-185	上田貞次郎宛書簡	大正13年6月6日	浅井義瑠	1924.6.6	26cm	3枚	

A06	45-186	上田貞次郎宛書簡	大正12年6月9日	切田太郎	1923.6.9	26cm	1枚	
A06	45-187	上田貞次郎宛書簡	大正12年4月2日	岡本創	1923.4.2	26cm	1枚	
A06	45-188	上田貞次郎宛書簡	大正12年5月25日	岡本創	1923.5.25	26cm	1枚	
A06	45-189*	上田貞次郎宛書簡	明治39年5月20日	加藤成一	1906.7.3	23×16cm	1枚	バーミンガムから
A06	45-189*	上田貞次郎宛書簡	明治39年7月3日	加藤成一	1906.5.20	23×16cm	2枚	バーミンガムから
A06	45-189**	上田貞次郎宛書簡	明治39年9月30日	加藤成一	1906.9.30	24cm	2枚	ニューヨークから
A06	45-189**	上田貞次郎宛書簡	19--年1月6日	加藤成一	19--.1.1	28cm	1枚	封筒なし
A06	45-189***	上田貞次郎宛書簡	明治41年1月1日	加藤成一	1908.1.1	28cm	1枚	志げ?書簡2枚あり
A06	45-189	上田貞次郎宛書簡	明治42年4月20日	加藤成一	1909.4.20	25cm	2枚	
A06	45-190	上田貞次郎宛書簡	19--年1月30日	加藤成一	19--.1.30	75×18cm	1枚	綴紙
A06	45-191	上田貞次郎宛書簡	大正7年10月2日	加藤成一	1918.10.2	85×18cm	1枚	綴紙
A06	45-192	上田貞次郎宛書簡	大正8年2月17日	加藤成一	1919.2.17	34×22cm	1枚(両面)	
A06	45-193	上田貞次郎宛書簡	大正8年3月15日	加藤成一	1919.3.15	24cm	3枚	
A06	45-194	上田貞次郎宛書簡	大正11年6月10日	加藤成一	1922.6.10	48×18cm	1枚	綴紙
A06	45-195	上田貞次郎宛書簡	大正8年4月21日	高橋鑰四郎	1919.4.21	26cm	5枚(両面)	
A06	45-196	上田貞次郎宛書簡	大正8年4月28日	高橋鑰四郎	1919.4.28	26cm	1枚(両面)	
A06	45-196*	上田貞次郎宛書簡	大正9年5月29日	高橋鑰四郎	1920.5.29	25cm	1枚(両面)	
A06	45-197	上田貞次郎宛書簡	大正3年3月22日	徳川頼貞	1914.3.22	14cm	1枚	イルシントンから
A06	45-198	上田貞次郎宛書簡	大正3年3月27日?	徳川頼貞	1914.3.27?	23cm	1枚(両面)	ミドルコットから
A06	45-199	上田貞次郎宛書簡	大正3年3月31日	徳川頼貞	1914.3.31	14cm	1枚	イルシントンから
A06	45-200	上田貞次郎宛書簡	大正3年4月3日?	徳川頼貞	1914.4.3?	19×13cm	4枚	イルシントンから
A06	45-201	上田貞次郎宛書簡	大正3年4月7日	徳川頼貞	1914.4.7	14cm	1枚	イルシントンから、山東誠三郎共筆
A06	45-202	上田貞次郎宛書簡	大正3年7月4日	徳川頼貞	1914.7.4	14cm	1枚	ロンドンから
A06	45-203	上田貞次郎宛書簡	大正3年8月2日	徳川頼貞	1914.8.2	23×16cm	1枚	プリストルから、1914年7月30日付Monber氏書簡あり
A06	45-204	上田貞次郎宛書簡	大正3年8月26日	徳川頼貞	1914.8.26	23cm	2枚(両面)	エディンバラから
A06	45-205	上田貞次郎宛書簡	大正4年2月5日	徳川頼貞	1915.2.5	23×18cm	2枚(両面)	ケンブリッジから
A06	45-206	上田貞次郎宛書簡	大正4年2月13日	徳川頼貞	1915.2.13	14cm	1枚	ケンブリッジから
A06	45-207	上田貞次郎宛書簡	大正4年2月25日	徳川頼貞	1915.2.25	23×18cm	2枚(両面)	ケンブリッジから
A06	45-208	上田貞次郎宛書簡	大正4年2月28日	徳川頼貞	1915.2.28	14cm	1枚	ケンブリッジから
A06	45-209	上田貞次郎宛書簡	大正4年3月29日	徳川頼貞	1915.3.29	14cm	1枚	トーキーから、山東誠三郎共筆
A06	45-210	上田貞次郎宛書簡	大正4年4月1日	徳川頼貞	1915.4.1	14cm	1枚	プリマスから、山東誠三郎共筆
A06	45-211	上田貞次郎宛書簡	大正4年4月6日	徳川頼貞	1915.4.6	14cm	1枚	ペンザンスから、山東誠三郎共筆
A06	45-212	上田貞次郎宛書簡	大正4年4月10日	徳川頼貞	1915.4.10	14cm	1枚	ミドルコットから
A06	45-213	上田貞次郎宛書簡	大正4年4月15日	徳川頼貞	1915.4.15	14cm	1枚	リッチモンドから
A06	45-214	上田貞次郎宛書簡	大正4年5月21日?	徳川頼貞	1915.5.21?	23×18cm	3枚(両面)	
A06	45-215	上田貞次郎宛書簡	大正4年6月6日	徳川頼貞	1915.6.6	14cm	1枚	ケンブリッジから、頼貞写真
A06	45-216	上田貞次郎宛書簡	大正4年6月11日	徳川頼貞	1915.6.11	14cm	1枚	ラニテルイから
A06	45-217	上田貞次郎宛書簡	大正4年6月14日	徳川頼貞	1915.6.14	14cm	1枚	リバプールから
A06	45-218	上田貞次郎宛書簡	大正10年7月13日	徳川頼貞	1921.7.13	14cm	1枚	エディンバラから
A06	45-219	上田貞次郎宛書簡	昭和5年11月15日	徳川頼貞	1930.11.15	22cm	5枚	マデラ島から
A06	45-220	上田貞次郎宛書簡	大正15年10月4日	鎌田栄吉	1926.10.6	14cm	1枚	マニラから
A06	45-221*	上田貞次郎宛書簡	大正3年4月6日	小泉信三	1914.4.6			「小泉信三全集」第25巻上掲載の電子複製物
A06	45-221**	上田貞次郎宛書簡	大正4年1月20日	小泉信三	1915.1.20			「小泉信三全集」第25巻上掲載の電子複製物
A06	45-222	上田貞次郎宛書簡	大正4年6月1日	小泉信三	1915.6.1	14cm	1枚	ケンブリッジから、マーレーのオルガン
A06	45-222	上田貞次郎宛書簡	昭和3年3月12日	有馬良橘	1928.3.12	47×18cm	1枚	綴紙
A06	45-223	上田貞次郎宛書簡	大正4年9月3日	日定信亮	1915.9.3	121×18cm	1枚	綴紙
A06	45-224	上田貞次郎宛書簡	19--年4月9日	岡崎邦輔	19--.4.9	62×18cm	1枚	綴紙
A06	45-225	上田貞次郎宛書簡	19--年2月1日	小川琢治	19--.2.1	92×18cm	1枚	綴紙
A06	45-226	上田貞次郎宛書簡	昭和2年12月14日	松島剛	1927.12.14	23cm	2枚	
A06	45-227	上田貞次郎宛書簡	大正8年2月1日	栗本勇之助	1919.2.1	23cm	1枚	
A06	45-228	上田貞次郎宛書簡	19--年--月--日	下村宏	19--.--.--	14cm	1枚	大西洋上から
A06	45-229	上田貞次郎宛書簡	大正7年12月28日	島蘭順次郎	1918.12.28	61×18cm	1枚	綴紙
A06	45-230	上田貞次郎宛書簡	大正8年1月8日	島蘭順次郎	1919.1.8	34×25cm	1枚	林良村履歴書あり
A06	45-231	上田貞次郎宛書簡	大正10年7月11日	浜口儀兵衛	1921.7.11	26cm	1枚	
A06	45-232	上田貞次郎宛書簡	19--年--月15日	中村魏	19--.--.15	24cm	2枚	
A06	45-233	上田貞次郎宛書簡	大正15年3月31日消印	河北真太郎	1926.3.31	26cm	2枚	
A06	45-234	上田貞次郎宛書簡	大正3年12月15日	山東誠三郎	1914.12.15	23×18cm	2枚	
A06	45-235	上田貞次郎宛書簡	大正4年3月11日	山東誠三郎	1915.3.11	23×18cm	3枚	
A06	45-236	徳川頼貞宛書簡	大正4年4月19日	The Orchestrell Co.	1915.4.19	26cm	3枚	パイプオルガン、1915.6.29消印封筒
A06	45-237	上田貞次郎宛書簡	大正4年6月6日	山東誠三郎	1915.6.6	26×20cm	4枚	
A06	45-238	上田貞次郎宛書簡	大正4年8月4日	山東誠三郎	1915.8.4	26×20cm	4枚	
A06	45-239	上田貞次郎宛書簡	大正10年6月18日	山東誠三郎	1921.6.21	26×20cm	4枚	ロンドンから
A06	45-240	上田貞次郎宛書簡	大正10年9月15日	山東誠三郎	1921.9.15	14cm	1枚	大西洋上から
A06	45-241	上田貞次郎宛書簡	大正10年9月29日	山東誠三郎	1921.9.29	14cm	1枚	ボストンから
A06	45-242	上田貞次郎宛書簡	大正4年7月12日	H. O. Meredith	1915.7.12	23×18cm	2枚	
A06	45-243	上田貞次郎宛書簡	大正14年5月4日	H. O. Meredith	1925.5.4	23×18cm	1枚	ジュネーブから
A06	45-244	上田貞次郎宛書簡	昭和2年5月2日	H. O. Meredith	1927.5.2	23×18cm	1枚	ベルファストから
A06	45-245*	上田貞次郎宛書簡	明治39年9月20日	E. P. Hughes	1906.9.20	15cm	2枚	バリーから
A06	45-245**	上田貞次郎宛書簡	明治41年2月26日	E. P. Hughes	1908.2.26	20×15cm	1枚	バリーから
A06	45-245	上田貞次郎宛書簡	大正3年12月12日	E. P. Hughes	1914.12.12	20×15cm	2枚	バリーから
A06	45-246	上田貞次郎宛書簡	大正6年2月14日	E. P. Hughes	1917.2.14	20×15cm	2枚	
A06	45-247	上田貞次郎宛書簡	大正6年2月24日	E. P. Hughes	1917.2.24	27cm	6枚	
A06	45-248	上田貞次郎宛書簡	大正8年11月22日	E. P. Hughes	1919.11.22	27cm	4枚	バリーから
A06	45-249	上田貞次郎宛書簡	昭和2年5月3日	G. A. Hughes	1927.5.3	27cm	1枚	バリーから
A06	45-250	上田貞次郎宛書簡	昭和4年6月27日	S. J. Chapman	1929.6.27	21cm	1枚	トゥールズから
A06	45-251	上田貞次郎宛書簡	昭和2年6月28日	James Stephenson	1927.6.28	33cm	2枚	カーディフから
A06	45-252	上田貞次郎宛書簡	大正4年6月14日	G. Dickinson	1915.6.14	26cm	1枚	ケンジントンから
A06	45-253	上田貞次郎宛書簡	昭和2年6月3日	G. Dickinson	1927.6.3	26cm	1枚	ケンブリッジから
A06	45-254	Sidney Webb宛書簡	大正2年11月9日	上田貞次郎	1913.11.9	26cm	3枚	上田正一「シドニーウェブとの往復書簡」(全集の葉No.3)あり「太田・増田両氏寄贈」の断簡あり
A06	45-255	上田貞次郎宛書簡	大正2年11月13日	Sidney Webb	1913.11.13	41×26cm	2枚	

A06	45-256	上田貞次郎宛書簡	大正5年5月24日	A. Mannlich	1916.5.24	27×20cm	4枚	ローザンヌから
A06	45-257	上田貞次郎宛書簡	大正4年6月1日	J. O. F. Murray	1915.6.1	21cm	2枚	ケンブリッジから、封筒なし
A06	45-258	上田貞次郎宛書簡	大正10年8月13日	E. H. Vickers	1921.8.13	28cm	3枚	モルガンタウンから
A06	45-259	上田貞次郎宛書簡	昭和13年5月7日	Neil Skene Smith	1938.5.7	26cm	2枚	ザットンから
A06	45-260	上田貞次郎宛書簡	昭和12年10月15日	C. R. Buxton	1937.10.15	23cm	1枚	ゴールドーグリーンから、"Japan Advertinzes" Nov.24 あり
A06	45-261	上田貞次郎宛書簡	昭和8年9月18日	W. R. Crocker	1933.9.18	24cm	1枚	ナイジェリアから
A06	45-262	上田貞次郎宛書簡	昭和15年5月18日	G. M. Fisher	1940.5.18	28cm	1枚	パークレーから
A06	45-263	上田貞次郎宛書簡	大正4年7月25日	M. G. Smith	1915.7.25	26cm	2枚	パークレーから
以下上田正一氏整理済み氏名リストにないもの、未処理分(ただし、未処理分の中で上田正一氏整理済み氏名リストに氏名があったものは、上記氏名順リストにダッシュ記号をつけて繰り入れた。)								
A06	45-264	上田貞次郎宛書簡	昭和13年4月25日	Frumkin	1938.4.25	24cm	1枚	ジュネーブから、League of Nations用紙
A06	45-265	上田貞次郎宛書簡	昭和13年5月20日	Frumkin	1938.5.20	33cm	1枚	ジュネーブから、League of Nations用紙、人口関係メモあり
A06	45-266	上田貞次郎宛書簡	明治40年7月1日	W. J. Ashley	1907.7.1	18cm	1枚	エドグバトンから
A06	45-267	上田貞次郎宛書簡	昭和2年5月27日	Wm. Ashley	1927.5.27	23×18cm	1枚	カンタベリーから
A06	45-268	E. W. Naylor宛書簡(copy)	大正7年11月18日	Abbott & Smith	1918.11.18	28cm	2枚	カンタベリーから、封筒は大正8年3月28日消印
A06	45-269	上田貞次郎宛書簡はがき	大正6年3月16日	P. L. F. Jacoulet	1917.3.16	14cm	3枚	ボストンから
A06	45-270	上田貞次郎宛書簡	明治40年1月4日	Hennthyer?	1907.1.4	23×18cm	1枚	グラスゴーから
A06	45-271	上田貞次郎宛書簡	明治41年6月28日	Addil Schlueros?	1908.6.28	20×16cm	1枚	ベルリンから
A06	45-272	上田貞次郎宛書簡	明治42年9月17日	I. Rocceled?	1909.9.17	25×21cm	1枚	ベルリンから
A06	45-273	上田貞次郎宛書簡	大正8年2月14日	井爪壺次	1919.2.14	23×18cm	1枚	
A06	45-274	上田貞次郎宛書簡	明治38年11月18日	内田耕	1905.11.18	24cm	4枚	マンチェスター宛、数吉?書簡(11月9日)1枚あり
A06	45-275	上田貞次郎宛書簡	明治39年10月24日	内田耕	1906.10.24	24cm	3枚	マンチェスター宛
A06	45-276	上田貞次郎宛書簡	明治40年2月8日	内田耕	1907.2.8	24cm	4枚	マンチェスター宛
A06	45-277	上田貞次郎宛書簡	明治40年5月4日	内田耕	1907.5.4	24cm	4枚	マンチェスター宛
A06	45-278	上田貞次郎宛書簡	大正15年1月26日	内田耕	1926.1.26	24cm	6枚	
A06	45-279	上田貞次郎宛書簡	大正15年2月2日	内田耕	1926.2.2	24cm	3枚	
A06	45-280	上田貞次郎宛書簡	明治40年4月23日	内田稔	1907.4.23	26×20cm	2枚	シアトルから
A06	45-281	上田貞次郎宛書簡	明治40年9月29日	内田稔	1907.9.29	20×13cm	2枚	マンチェスターから、「旧の白濁節」(3枚)あり
A06	45-282	上田貞次郎宛書簡	明治40年10月20日	内田稔	1907.10.20	20×13cm	1枚	ボンから、書簡(2枚)あり
A06	45-283	上田貞次郎宛書簡	大正15年5月13日消印	上田幹一	1926.5.13	40×28cm	1枚	上田幹一履歴書
A06	45-284	上田貞次郎宛書簡	大正15年6月9日	宇田稲夫	1926.6.9	22×19cm	4枚	
A06	45-285	上田貞次郎宛書簡はがき	昭和5年3月23日	勝田貞次	1930.3.25	14cm	1枚	ベルリンから
A06	45-286	上田貞次郎宛書簡	大正15年9月5日	加藤重男	1926.9.5	29cm	3枚	
A06	45-287	上田貞次郎宛書簡	大正14年6月20日	金子利八郎	1925.6.20	22cm	5枚	
A06	45-288	上田貞次郎宛書簡	大正14年3月2日	久保田貫一郎	1925.3.2	28×18cm	4枚	ツールズから
A06	45-289	上田貞次郎宛書簡	大正15年6月21日	小島英一	1926.6.21	23cm	5枚	
A06	45-290	上田貞次郎宛書簡	大正11年2月20日	小林益吉	1922.2.20	29cm	1枚	ベルリンから
A06	45-291	上田貞次郎宛書簡	大正11年9月29日	小林益吉	1922.9.29	29cm	1枚	ロンドンから
A06	45-292	上田貞次郎宛書簡	大正15年9月22日	志立鉄次郎	1926.9.22	24cm	1枚	経済攻究会封筒入り
A06	45-293	杉村先生宛書簡	19--年5月27日	宅内喜代?	19--.5.27	27cm	1枚	
A06	45-294	上田貞次郎宛書簡	大正9年6月13日	鳥居赫雄	1920.6.13	38×18cm	1枚	活字(大正日日新聞の株主総会)
A06	45-295	上田貞次郎宛書簡	大正9年7月4日	鳥居赫雄	1920.7.4	79×18cm	1枚	継紙
A06	45-296	統制経済編集部宛書簡	昭和17年7月1日	林岡修三?	1942.7.1	26cm	1枚	
A06	45-297	上田貞次郎宛書簡	大正15年7月13日	湊源一	1926.7.13	23cm	2枚	
A06	45-298	上田貞次郎宛書簡	19--年--月--日	?	19--.--.--	61×18cm	1枚	封筒なし、継紙
A06	45-299	上田貞次郎宛書簡	明治40年2月23日	[上田]敬太郎	1907.2.23	33×24cm	1枚	マンチェスター宛
A06	45-300	上田貞次郎宛書簡	明治40年3月10日	[上田]敬太郎	1907.3.10	33×24cm	1枚	マンチェスター宛麻布尋常小学校通知1枚あり
A06	45-301	上田貞次郎宛書簡	明治40年5月3日	[上田]敬太郎	1907.5.3	33×24cm	2枚	マンチェスター宛
A06	45-302	上田貞次郎宛書簡	明治41年5月8日	[上田]敬太郎	1908.5.8	78×19cm	1枚	ベルリン宛、「馬術の先覚者」新聞切抜あり、継紙
A06	45-303	上田貞次郎宛書簡	明治39年9月29日	[向笠]さだ	1906.9.29	76×19cm	1枚	バーミンガム宛徳川老侯墓通知1枚あり、継紙
A06	45-304	上田貞次郎宛書簡	明治40年4月16日	[向笠]さだ	1907.4.16	94×19cm	1枚	マンチェスター宛、継紙
A06	45-305	上田貞次郎宛書簡	明治40年6月27日	[向笠]さだ	1907.6.27	78×19cm	1枚	マンチェスター宛、継紙
A06	45-306	上田貞次郎宛書簡	明治40年10月1日	[向笠]さだ	1907.10.1	100×19cm	1枚	ボン宛、継紙
A06	45-307	上田貞次郎宛書簡	1907/12/6消印	森島わか	1907.12.6	27cm	3枚	ボン宛、直造書簡1枚あり
A06	45-308	上田貞次郎宛書簡	1906/10/19消印	房?	1906.10.19	24cm	2枚	バーミンガム宛
A06	45-309	上田貞次郎宛書簡	明治40年4月28日	?	1907.4.28	33×24cm	2枚	マンチェスター宛
A06	45-310	上田てい子宛書簡	明治43年-昭和14年	上田貞次郎				「全集の葉」no.3-no.7所載の電子複製物
以下谷口晋吉教授を通じて寄贈された上田貞次郎宛書簡								
A06	46-1	上田貞次郎宛書簡	昭和3年2月20日	三浦新七	1928.2.20	26cm	3枚	
A06	46-2	上田貞次郎宛書簡	昭和9年5月30日	三浦新七	1934.5.30	26cm	2枚	両羽銀行番紙
A06	46-3	上田貞次郎宛書簡	明治44年10月23日	福田徳三	1911.10.23	26cm	2枚	
A06	46-4	上田貞次郎宛書簡	大正2年3月27日消印	左右田喜一郎	1913.3.27	26×20cm	1枚	
A06	46-5	上田貞次郎宛書簡	大正15年5月17日	吉野作造	1926.5.17	22cm	2枚	
A06	46-6	上田貞次郎宛書簡	昭和12年11月3日	大島延次郎	1937.11.3	67×19cm	1枚	
A06	46-7	上田貞次郎宛書簡	昭和3年2月21日	前田卯之助	1928.2.21	28×23cm	2枚	
A06	46-8	上田貞次郎宛書簡	昭和3年2月23日	前田卯之助	1928.2.23	22×19cm	2枚	
A06	46-9	上田貞次郎宛書簡	大正15年4月29日消印	出淵勝次	1926.4.29	186×19cm	1枚	継紙
A06	46-10	上田貞次郎宛書簡	昭和11年2月20日	武井大助	1936.2.20	22cm	2枚	
A06	46-11	上田貞次郎宛書簡	昭和11年12月27日	河野健治	1936.12.27	278×19cm	1枚	継紙
A06	46-12	上田貞次郎宛書簡	昭和13年3月1日	加藤成一	1938.3.1	22cm	1枚	
A06	46-13	上田貞次郎宛書簡	昭和12年1月20日	松島剛	1937.1.20	25cm	4枚	
A06	46-14	上田貞次郎博士大学院会 員新任祝賀会〔開催通知〕	昭和12年2月	発起人	1937.2	46×21cm	1枚	
A06	46-15	上田貞次郎博士大学院会 員新任祝賀会出席者氏名	昭和12年2月25日		1937.2.25	40×28cm	1枚	



(参考)

平成21年3月9日

附属図書館長決裁

### 大塚金之助関係資料取扱要領

(趣旨)

第1条 この規定は、一橋大学附属図書館（以下、「図書館」という。）が所蔵する大塚金之助関係資料の取扱に関し必要な事項を定めるものとする。

(公開)

第2条 同資料は一般の利用に供するものとする。ただし次条に掲げる場合には、この限りでない。

(利用の制限)

第3条 附属図書館長（以下、「館長」という。）は次に掲げる範囲内で、同資料の一般の利用を制限することができる。

一 当該資料（その作成又は取得の日に属する年度の翌年度の4月1日から起算して30年を経過していないものに限る。）に次に掲げる情報が記録されていると認められる場合において、当該資料（当該情報が記録されている部分に限る。）の一般の利用を制限すること。

イ 個人に関する情報（事業を営む個人の当該事業に関する情報を除く。）であつて、当該情報に含まれる氏名、生年月日その他の記述等により特定の個人を識別することができるもの（他の情報と照合することにより、特定の個人を識別することができることとなるものを含む。）又は特定の個人を識別することはできないが、公にすることにより、なお個人の権利利益を害するおそれがあるもの。ただし、次に掲げる情報を除く。

- (1) 法令の規定により又は慣行として公にされ、又は公にすることが予定されている情報。
- (2) 人の生命、健康、生活又は財産を保護するため、公にすることが必要であると認められる情報。
- (3) 当該個人が公務員等(国家公務員法（昭和22年法律第120号）第2条第1項に規定する国家公務員及び地方公務員法（昭和25年法律第261号）第2条に規定

する地方公務員をいう。)である場合において、当該情報がその職務の遂行に係わる情報であるときは、当該情報のうち当該公務員の職及び当該職務遂行の内容に係わる部分。

ロ 法人その他の団体(国、独立行政法人等及び地方公共団体を除く。以下「法人等」という。)に関する情報又は事業を営む個人の当該事業に関する情報であって、次に掲げるもの。ただし、人の生命、健康、生活又は財産を保護するため、公にすることが必要であると認められる情報を除く。

(1) 公にすることにより、当該法人等又は当該個人の権利、競争上の地位その他正当な利益を害するおそれがあるもの。

(2) 本学の要請を受けて公にしないと条件で任意に提供されたものであって、法人等又は個人における通例として公にしないこととされているもの、その他の当該条件を付することが当該情報の性質、当時の状況等に照らして合理的であると認められるもの。

二 当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件に個人又は法人等から寄贈を受けている場合において、当該期間が経過するまでの間、当該資料の全部又は一部の一般の利用を制限すること。

三 当該資料の原本を利用に供することにより当該原本の破損もしくはその汚損を生じるおそれがある場合、又は図書館において当該原本が現に使用されている場合(図書館における保存及び利用の開始のために必要な措置を行う場合を含む。)において、当該原本の一般の利用の方法又は期間を制限すること。

2 当該資料(その作成又は取得の日の属する年度の翌年度の4月1日から起算して30年を経過していないものを除く。以下この条において同じ。)に前項第1号イに掲げる情報が記録されていると認められる場合には、館長は別表に掲げる範囲内で、当該資料(当該情報が記録されている部分に限る。)の一般の利用を制限することができる。

3 当該資料に第1項第1号ロに掲げる情報が記録されていると認められる場合において、当該情報が次に掲げるものであると認められるときは、館長は、当該資料(当該情報が記録されている部分に限る。)の一般の利用を制限することができる。

一 公にすることにより、当該法人等又は当該個人の権利を害するおそれのあるもの。

二 営業秘密（不正競争防止法（平成5年法律第47号）第2条第6項に規定する営業秘密をいう。）であって、当該情報を公にすることにより、当該法人等又は当該個人の利益を不当に害するおそれのあるもの（当該情報が記録されている当該資料の作成又は取得の日の属する年度の翌年度の4月1日から起算して80年を経過していないものに限る。）

（利用者の責任）

第4条 利用者は、同資料に含まれる情報を利用することによって著作権、プライバシー等第三者の権利利益を侵害したときは、その一切の責任を負うものとする。

（閲覧・貸出）

第5条 「一橋大学附属図書館貴重資料及び準貴重資料取扱要領」3(4)、及び「一橋大学附属図書館貴重資料及び準貴重資料の利用に関する細則」第3条、第4条、第9条に準ずる。

（複写）

第6条 「一橋大学附属図書館貴重資料及び準貴重資料取扱要領」3(5)、及び「一橋大学附属図書館貴重資料及び準貴重資料の利用に関する細則」第5条～第7条、第10条に準ずる。

（展示）

第7条 館長は、同資料を一般の観覧に供するため、館内等においてこれを展示することができる。

（保存措置）

第8条 「一橋大学附属図書館貴重資料及び準貴重資料取扱要領」5に準ずる。

別表（第3条関係）

一般の利用を制限する資料に 記録されている情報	該当する可能性のある情報の 類型の例	経過年数
個人の秘密であって、当該情報を公に することにより、当該個人の権利利益	イ 学歴又は職歴	30年以上
	ロ 財産又は所得	50年未満
	ハ 採用、選考又は任免	

を不当に害するおそれのあるもの	ニ 勤務評定又は服務	
個人の重大な秘密であって、当該情報を公にすることにより、当該個人の権利利益を不当に害するおそれのあるもの	イ 国籍、人種又は民族 ロ 家族、親族又は婚姻 ハ 信仰 ニ 思想 ホ 伝染性の疾病、身体の障害その他の健康状態	50年以上 80年未満
個人の特に重大な秘密であって、当該情報を公にすることにより、当該個人及びその遺族の権利利益を不当に害するおそれのあるもの	イ 門地 ロ 遺伝性の疾病、精神の障害その他の健康状態 ハ 犯罪歴又は補導歴	80年以上

備考

- 1 該当する可能性のある情報の種類の例とは、この表の左欄にいう「個人の秘密」、「個人の重大な秘密」又は「個人の特に重大な秘密」にそれぞれ該当する可能性が考えられる一般的な情報の類型を例示したものであって、資料に記録されている情報に対するこの表の適用にあたっては、当該情報の具体的性質、当該情報が記録された当時の状況等を総合的に勘案して個別に判断するものとする。
- 2 経過年数とは、当該情報が記録されている資料の作成又は取得した翌年度の4月1日から起算して経過した年数をいう。

<sup>1</sup>上田貞次郎は、明治38年（1905年）3年間の欧米留学前に「商事経営学に関する意見」を松崎校長に提出し、留学から帰国した明治42年（1909年）秋の新学期から東京高等商業学校の本科3年において授業科目「経済学」の中で「商工経営」の講義を開始した。日本における経営学の先駆者と目されている。（西沢保．“福田徳三・上田貞次郎と東京商科大学の形成”．マーシャルと歴史学派の経済思想．岩波書店，2007．p.254-255）

<sup>2</sup>上村泰裕．“上田貞次郎と保守主義・自由主義・社会主義”．一橋フォーラム21 第59期，2005.7.26．p.33 <http://www.lit.nagoya-u.ac.jp/~kamimura/uyedarecord.pdf>（参照2015-1-22）

- 
- <sup>3</sup> 上田貞次郎博士記念論文集編纂委員会編. 上田貞次郎博士記念論文集：全4巻. 科学主義工業社蔵版, 1942. 本論文集は上田貞次郎を「追慕すると共に」「その学績を顕彰せんとする目的」で企画されたが、「序文」によれば「九十名余の執筆者を得て」刊行された。
  - <sup>4</sup> 上田貞次郎. 上田貞次郎全集：全7巻. 日本評論社, 1975-1976
  - <sup>5</sup> 上田貞次郎. 上田貞次郎日記：青年編-壮年編-晩年編. 上田貞次郎日記刊行会, 1963
  - <sup>6</sup> 上田貞次郎. 白雲去来. 中央公論社, 1940
  - <sup>7</sup> 上田貞次郎. 上田貞次郎直筆ノート類：全18巻. 一橋大学附属図書館, 2005
  - <sup>8</sup> 伊藤隆、李武嘉也編. 近現代日本人物史料情報辞典：1-4. 吉川弘文館, 2004-2011
  - <sup>9</sup> 上田正一. 上田貞次郎伝. 泰文館, 1980
  - <sup>10</sup> 『小泉信三全集』(文芸春秋社, 1967-1972)の第25巻上に掲載されているものの複写物である。
  - <sup>11</sup> 『上田貞次郎全集』の月報「上田貞次郎全集の栞」のno.3からno.7に掲載されたものの複写物である。
  - <sup>12</sup> 一橋大学附属図書館のホームページにも掲載されている。 <http://www.lib.hit-u.ac.jp/retrieval/bunko/pdf/Ot-terms.pdf>

[Report]

*Collection of Letters Addressed to Teijiro Uyeda*

Oba, Takashi.

Evaluation and Public Relations Division, Department of General Affairs,

Hitotsubashi University